

2022年10月26日

各位

会社名 オムロン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 山田 義仁
 コード番号 6645
 上場取引所 東証プライム市場
 問合せ先 IR部長 岡田 拓朗
 T E L 075-344-7048

剰余金の配当（中間配当）の決定および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日（2022年10月26日）開催の取締役会において、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）および2022年3月期の期末配当予想の修正について下記のとおり決議しましたので、お知らせします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）の決定の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年4月26日公表)	前期実績 (2022年3月期中間配当)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	49円00銭	-	46円00銭
配当金の総額	9,778百万円	-	9,312百万円
効力発生日	2022年12月2日	-	2021年12月2日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (2022年4月26日発表)	-	-	98円00銭
今回修正予想	-	49円00銭	98円00銭
当期実績 (2023年3月期)	49円00銭	-	-
前期実績 (2022年3月期)	46円00銭	46円00銭	92円00銭

3. 理由

当社のキャッシュアロケーションポリシーおよび株主還元方針に沿って、年間配当予想は期初予想の 98 円から変更していません。また、中間配当および期末配当予想は、それぞれ年間配当予想の半額の 49 円（ともに前期より 3 円の増配）としました。

<キャッシュアロケーションポリシー>

- ①長期ビジョンの実現による企業価値の最大化を目指し、中長期視点で新たな価値を創造するための投資を優先します。SF 1st Stage においては、社会的課題の解決やソーシャルニーズ創造のための人財や研究開発などへの投資、増産や DX などの設備投資、M&A & A（買収・合併・提携）などの成長投資に加えて、脱炭素・環境負荷低減やバリューチェーンにおける人権尊重などのサステナビリティへの取り組みに対する投資を優先します。その上で、安定的・継続的な株主還元を実行していきます。
- ②これら価値創造のための投資や株主還元の原資は内部留保や持続的に創出する営業キャッシュフローを基本とし、必要に応じて適切な資金調達手段を講じて充当します。なお、金融情勢によらず資金調達が可能とするため、引き続き財務健全性の維持に努めます。

<株主還元方針>

- ①中長期視点での価値創造に必要な投資を優先した上で、毎年配当金については、「株主資本配当率（DOE）3%程度」を基準とします。そのうえで、過去の配当実績も勘案して、安定的・継続的な株主還元を努めます。
- ②上記の投資と利益配分を実施したうえで、さらに長期にわたり留保された余剰資金については、機動的に自己株式の買入れなどを行い、株主の皆さまに還元していきます。

以上